Form No. 3468-303 Rev A

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

27 インチ バーチカッター

Reelmaster® 7000-D のカッティングユニット

モデル番号 03731—シリアル番号 407900000 以上

製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

3468-303

この製品は、関連する全ての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の末尾にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

はじめに

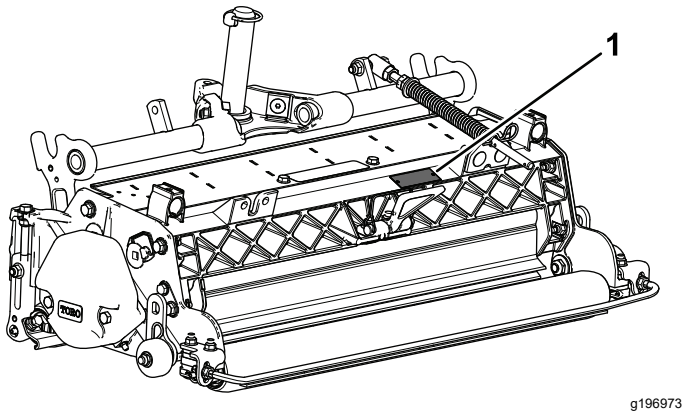
このバーチカッターキットは、乗用型の装置に取り付けて使用する専門業務用の製品であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、集約的で高度な管理を受けている公園、スポーツフィールドや商用目的で使用される芝生にバーチカット作業を行うことを主たる目的として製造されております。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切で安全な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができますwww.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

***重要*シリアル番号プレートについているQRコード無い場合もありますをモバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。**



g196973

図 1

1. 銘板取り付け位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 2を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



g000502

図 2

危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要** は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について 3
- 安全に関する一般的な注意 3
- カッティングユニットの安全確保 3
- 刈り込みブレードについての安全事項 3
- 安全ラベルと指示ラベル 4

組み立て 5
- 1 バーチカッターの点検 6
- 2 移動用ローラを取り付ける 6
- 3 Oリングとグリスフィッティングを取り付ける 7
- 4 ターフ補正スプリングを取り付ける 7
- 5 バーチカッターを調整する 8
- 6 バーチカッターリールの取り付け 8

製品の概要 9
- 仕様 9
- アタッチメントとアクセサリ 9

運転操作 9
- トレーニング期間 9
- バーチカッターを調整する 9
- 運転のヒント 11

保守 12
- キックスタンドを使ってカッティングユニットを立てた状態にする 12
- バーチカッターの潤滑 12
- ブレードをシャフトから取り外す 13
- バーチカッタのブレードを取り付ける 13
- 標準以外のブレード間隔 14
- ローラの整備 15

© 2022—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
Printed in the USA
禁無断転載

安全について

この機械は、EN ISO 5395: 規格およびANSI B71.4-2017 規格に適合しています。

安全に関する一般的な注意

この製品は手足を切断する能力がある。重大な人身事故を防ぐため、すべての注意事項を厳守してください。

- 本機をご使用になる前に必ずこの*オペレーターズマニュアル*をお読みになり内容をよく理解してください
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は事故の大きな原因となります。
- 作業場所をよく確認し、バーチカッターのブレードにはね飛ばされる危険のあるものはすべて取り除いてください。作業場所から人を十分に遠ざけてください。
- 機械の可動部の近くには絶対に手足を近づけないでください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく機能していない時は、運転しないでください。
- 排出口の近くに手足などを近づけないでください。
- 作業場所に、無用の大人、子供、ペットなどを近づけないでください。子供に運転させないでください。
- 運転席を離れる前に
  - 平らな場所に駐車する。
  - カッティングユニット下降
  - 駆動系統をOFFにする。
  - 駐車ブレーキを掛ける装備車の場合。
  - エンジンを止め、キーを抜き取る。
  - 全ての動きが停止するのを待つ。
  - 刃が硬いものにぶつかったりユニットが異常な振動をしたりした場合は 直ちに車両を止めてエンジンを停止し、バーチカッターに損傷が発生していないか点検してください。損傷や異常があれば修理を行い、修理が終わるまでは使用を再開しないでください。
  - ボルト、ナット、ねじ類などすべてを十分に締めつけ、常にバーチカッターの安全を心掛けてください。

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識 ⚠ のついている遵守事項は必ずお守りください「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

カッティングユニットの安全確保

- トラクションユニットに取り付けたカッティングユニットは、機械の一部となります。ですから、トラクションユニットの*オペレーターズマニュアル*もお読みになって、機械全体を安全に取り扱う方法を良く学んでください。
- 異物をはね飛ばしたときや機体に異常な振動を感じたときにはまずマシンを停止し、キー付きのマシンではキーを抜き取り、各部の動きが止まってからよく点検してください。異常を発見したら、作業を再開する前にすべて修理してください。
- 各部品が良好な状態にあり、ボルトナット類が十分にしまっているか常に点検してください。読めなくなったステッカーは貼り替えてください。
- アクセサリ、アタッチメント、交換部品は、必ずトロの純正品をお使いください。

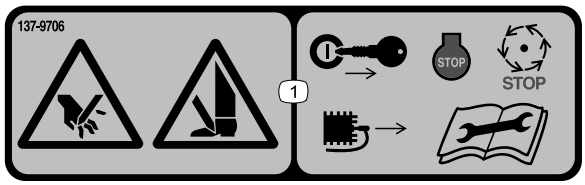
刈り込みブレードについての安全事項

磨耗の進んだブレードや破損したブレードは、回転中にちぎれて飛び出す場合があり、これが起こるとオペレータや周囲の人間に多大の危険を及ぼし、最悪の場合には死亡事故となる。

- ブレードが磨耗や破損していないか定期的に点検すること。
- ブレードを点検する時には安全に十分注意してください。ブレードをウェスでくるむか、安全手袋をはめ、十分に注意して取り扱ってください。ブレードは研磨または交換のみ行い、たたいて修復したり溶接したりしないでください。
- 複数のブレードを持つ機械では、つのブレードを回転させると他も回転する場合がありますから注意してください。

安全ラベルと指示ラベル

危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal137-9706

137-9706

1. 手足を切断する危険整備作業を行う前に、エンジンを停止し、キーを抜き取るか点火プラグコードを外すかし、可動部が停止するのを待つこと。*オペレーターズマニュアル*を読むこと。

組み立て

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	バーチカッター	1	バーチカッターを点検します。
2	移動用ローラアセンブリ コッターピン	2 2	移動用ローラを取り付けます。
3	リング グリスフィッティング	1 1	Oリングとグリスフィッティングを取り付けます。
4	ターフ補正アセンブリ 長いボルト キャリッジボルト フランジロックナット フランジナット	1 1 2 3 1	ターフ補正スプリングアセンブリを取り付けます。
5	必要なパーツはありません。	–	バーチカッターを調整します。
6	必要なパーツはありません。	–	バーチカッターリールの取り付け.

その他の付属品

内容	数量	用途
オペレーターズマニュアル パーツカタログ別途入手してくださいパーツカタログの入手方法については、同封の葉書をご覧ください。	1 –	マニュアルはよくお読みになってから適切な場所に保管してください。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

バーチカッターの点検

この作業に必要なパーツ

1	バーチカッター

手順

バーチカッターの梱包を解いたら、以下のことを確認してください

1. リールの両側にグリスが付いていることを確認する。リール ベアリングとリール シャフトのスプラインの内側に目で見てはっきりグリスが確認できることが必要。
2. すべてのハードウェアがしっかりと締められていることを確認すること。
3. キャリアフレームのサスペンションが自由に動くこと、特に、前後に揺れるときに引っ掛かりがないことを確認する。

2

移動用ローラを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	移動用ローラアセンブリ
2	コッターピン

手順

コッターピンを使って、移動用ローラブラケットを各サイドプレートのピンに固定する図 3。

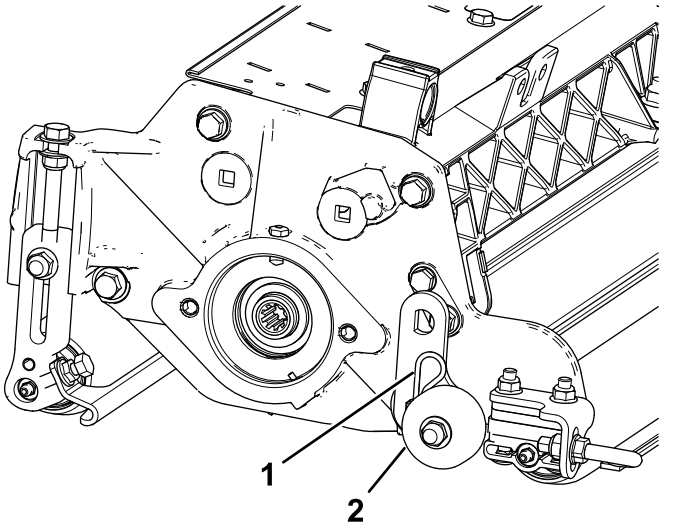


図 3

1. コッターピン
2. 移動用ローラ･アセンブリ

注 ローラは、バーチカッターの後ろに取り付けます。

3

Oリングとグリスフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	リング
1	グリスフィッティング

手順

グリスフィッティングは、バーチカッターのリールモータ側に取り付ける必要があります。下の図で各リールモータの位置を確認してください 図 4。

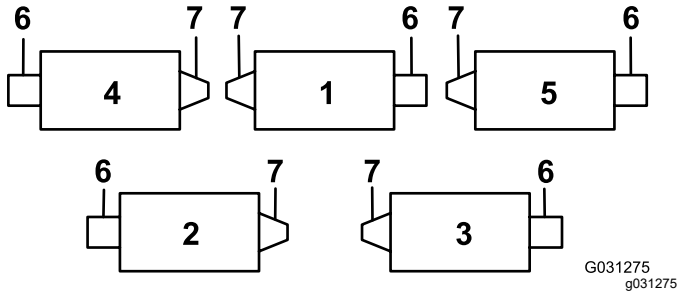


図 4

1. バーチカッター 1
2. バーチカッター 2
3. バーチカッター 3
4. バーチカッター 4
5. バーチカッター 5
6. リールモータ
7. ウェイト

1. リールモータのサイドプレートの固定ねじを外す。ねじは廃棄する 図 5。

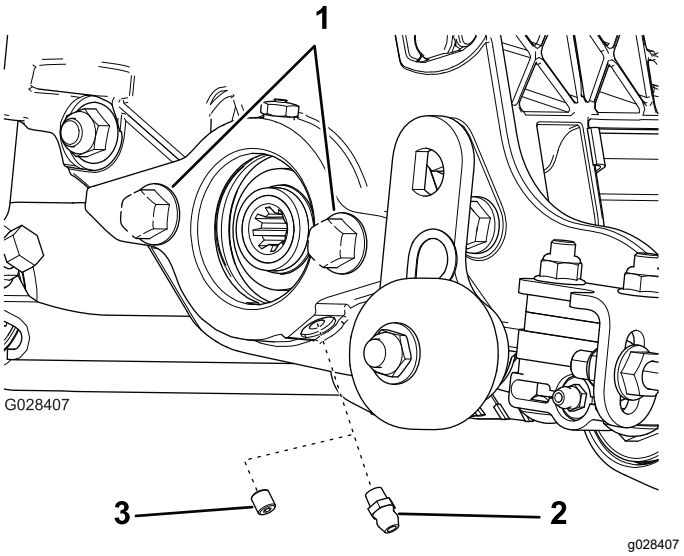


図 5

1. ボルト
2. ストレートグリスフィッティング取り付ける
3. 固定ねじ外して捨てる

2. グリスフィッティングストレートを取り付ける 図 5。
3. バーチカッター2と4の位置図 4では、ウェイトをカッティングユニットの反対側に移動する。
4. リールモータのサイドプレートにボルトが付いていない場合は取り付ける 図 5。
5. リールモータにOリングを取り付ける 図 6。

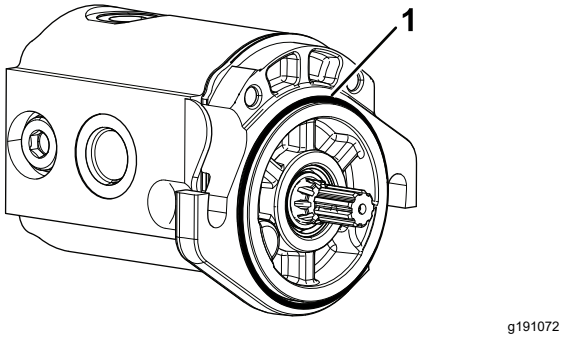


図 6

1. リング

4

ターフ補正スプリングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ターフ補正アセンブリ
1	長いボルト
2	キャリッジボルト
3	フランジロックナット
1	フランジナット

手順

ターフ補正スプリングアセンブリを、リールモータと同じ側に取り付ける図 4と図 7。

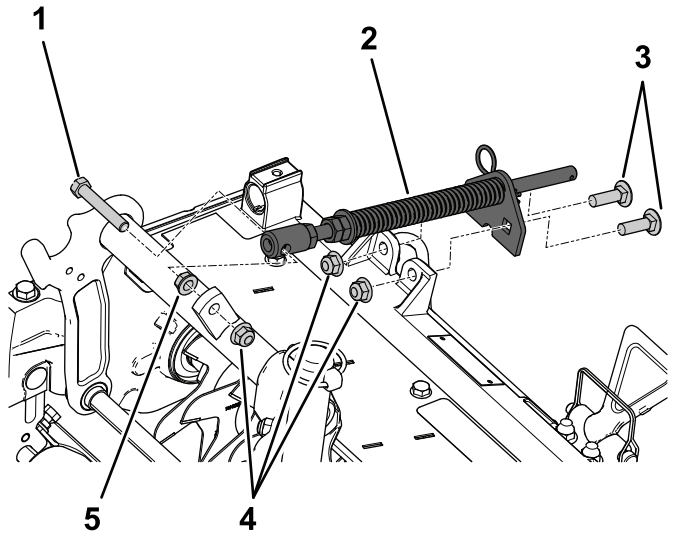


図 7

1. 長いボルト
2. 補正スプリングアセンブリ
3. キャリッジボルト
4. フランジロックナット
5. フランジナット

5

バーチカッターを調整する

必要なパーツはありません。

手順

バーチカッターを調整する (ページ 9)を参照。

6

バーチカッターリールの取り付け

必要なパーツはありません。

手順

重要 **バーチカッターのリールを不用意に降下させると、ブレードがコンクリートの床などに当たって破損しますから十分に注意してください。コンクリート床や舗装された面にバーチカッターを降ろす場合には、移動走行用ローラを降ろしてください。**

バーチカッターは、通常のカッティングユニットと同じようにトラクションユニットに取り付けます。取り付けについての詳細はトラクションユニットの*オペレーターズマニュアル*を参照してください。

リールモータを取り付けてサイドプレートからグリスを注入する。リリーフバルブからグリスが漏れてくるまで入れること バーチカッターの潤滑 (ページ 12)を参照。

製品の概要

仕様

純重量	64kg

アタッチメントとアクセサリ

トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください 弊社のウェブサイト www.Toro.com でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ずToroの純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があり、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

運転操作

トレーニング期間

バーチカッターリールを実際に使用する前に、希望する作業深さに設定して試運転を行い、仕上がり具合を確認してください。テスト用のエリアを作り、予想通りの仕上がりになるかどうかを確認してください。必要に応じて調整を行ってください。

バーチカッターを調整する

ブレードの深さを調整する

注 ブレードの最大食い込み深さは 6 mm が推奨です。

1. バーチカッターのリールを、平らな場所に置く。
2. 希望する深さ刃が地面に食い込む深さと同じ厚さのゲージバーを 2 枚用意し、ユニットの左右で後ローラとバーチカッターリールの下にあてがう図 8。

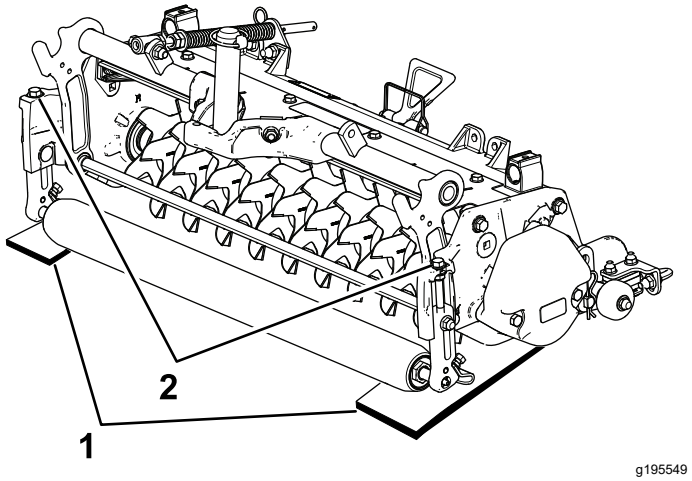


図 8

1. ゲージバー
2. 調整ボルト

注 バーチカッターのブレードがゲージバーに当たってはいけません。

3. 各刈高ブラケットについている調整ボルト図 8を使って、バーチカッターの刃の両端を床に接触させる。

注 バーチカッターの刃が磨耗するにつれてリールの直径が小さくなってくるため、設定は徐々に変化します。希望通りの設定になっているかどうか定期的に調整を確認してください。

後グラスシールドを調整する

注 有機物の多いターフやサッチが非常に厚くなっているターフでは 後ろ側の排出口を開いてください。

1. グラスシールドのピボットについているボルトをゆるめる図 9。

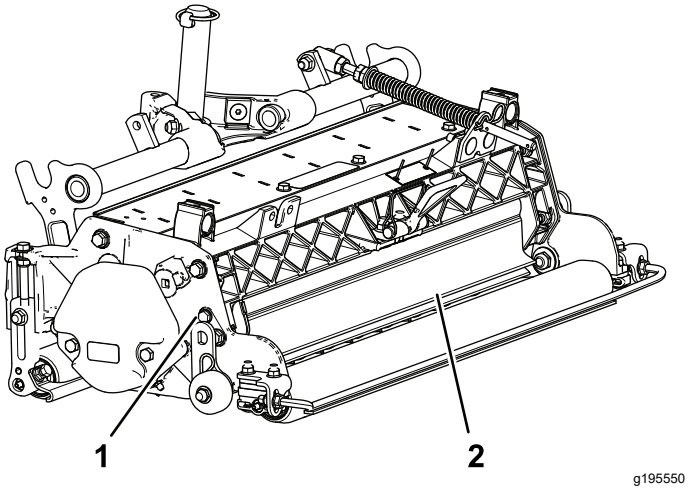


図 9

1. ピボットボルト
2. 後グラスシールド

2. グラスシールドを希望する高さに調節し、ボルトを締める図 9。

⚠ 注意

異物が飛び出して人にけがをさせる恐れがある。

後部シールドを開きすぎないこと。地表面と平行な状態より大きく開かないこと。

ローラスクレーパを調整する

1. ローラスクレーパを固定しているフランジナットをゆるめる図 10。

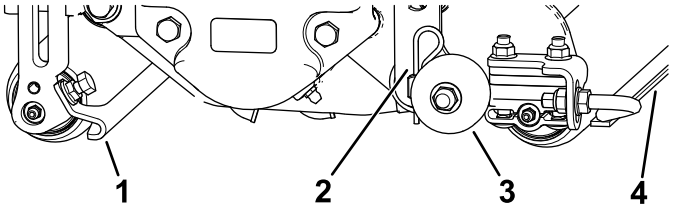


図 10

1. 前ローラスクレーパ
2. コッターピン
3. 移動用ローラ
4. 後ローラスクレーパ

2. スクレーパのロッドの位置を調整して、スクレーパとローラとの間に 00.75mm のすき間を作る。
3. スクレーパのロッドがローラおよび床面と平行になっていることを確認する。
4. その後、フランジナットを締めて調整を固定する。

移動用ローラを調整する

整備場の床にバーチカッターを降ろすときやトラクションユニットから外して床に置く場合には、ブレードが床にあたって破損しないよう、必ず移動用ローラを降ろしてください図 10。

1. 移動用ローラブラケットをサイドプレートのピンに固定しているコッターピンを外す。
2. 移動用ローラを以下のようにセットする
   - バーチカッターを床に降ろす前にローラブラケットを降ろす。
   - バーチカッターを床から作動位置まで上げてからローラブラケットを上げる。
3. コッターピンを使って、移動用ローラブラケットをサイドプレートのピンに固定する。
4. 同様の方法でユニットの反対側でも作業を行う。

カッティングユニットのステアリングを調整する

後カッティングユニットのステアリングを大きくするには

後ろのカッティングユニット2番と3番のキャリアフレームから、ピボットスペーサ、六角ソケットねじ、およびフランジロックナット各2図 11を取り外すことにより、これらのカッティングユニットの首振り追従性能を向上させることができます図 12。

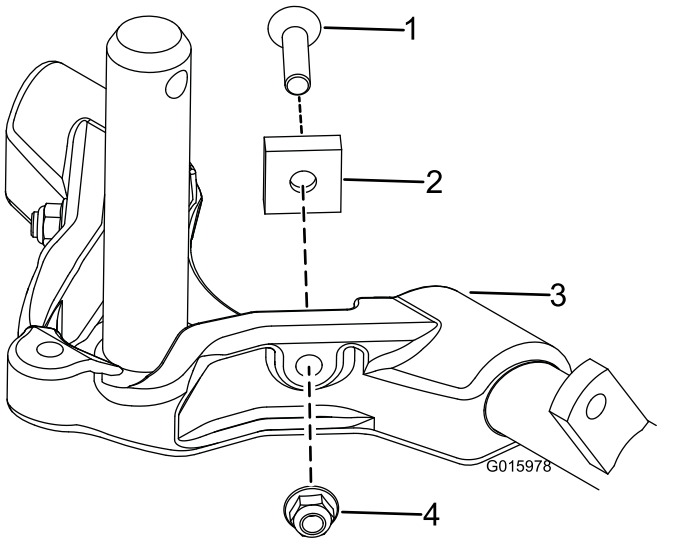


図 11

1. 六角ソケットねじ
2. ピボットスペーサ
3. キャリアフレーム
4. フランジロックナット

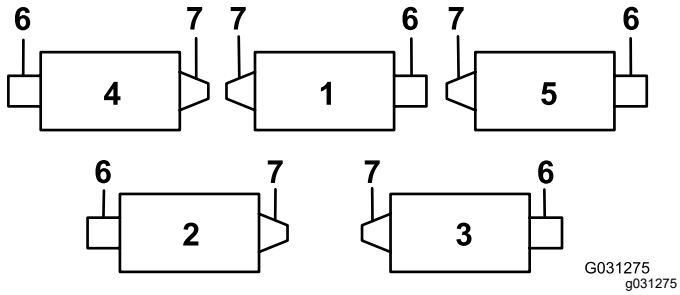


図 12

1. 1番カッティングユニット
2. 2番カッティングユニット
3. 3番カッティングユニット
4. 4番カッティングユニット
5. 5番カッティングユニット
6. リールモータ
7. ウェイト

ステアリングをロックする

カッティングユニットが首振りしないように固定するには、スナッパピンを使ってピボットヨークをキャリアフレームに固定します図 13。

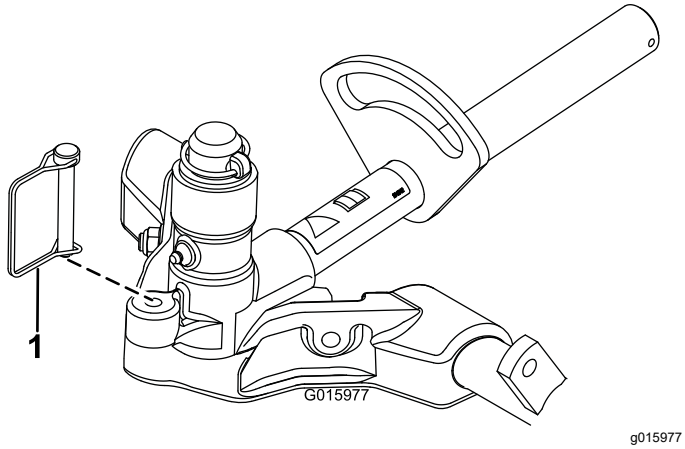


図 13

1. スナッパピン

注 法面では、カッティングユニットを固定することをお奨めします。

ターフ補正スプリングを調整する

ターフ補正スプリングは、カッティングユニットの前から後ろへの「体重移動」を行う働きがあります。これにより、マーセリングやボビングと呼ばれる「波打ったような」仕上がりを防いでいます。

重要 **この調整は、カッティングユニットをトラクタに取り付け、ユニットを真っ直ぐ前に向けて床に降ろした状態で行ってください。**

1. スプリングロッドの後穴にヘアピンコッターを忘れずに取り付けてください図 14。

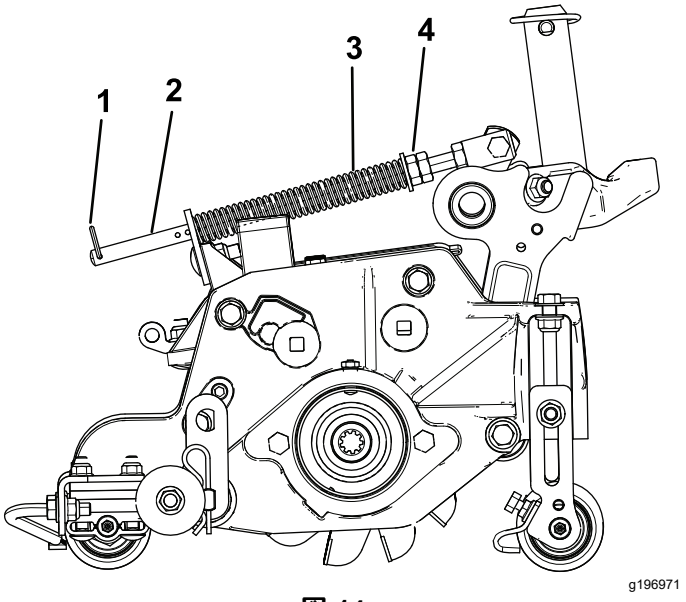


図 14

1. ヘアピンコッター
2. スプリングロッド
3. ターフ補正スプリング
4. 六角ナット

2. スプリングロッド前部の6角ナットを締めて、スプリング圧縮状態の長さが15.9 cm になるようにする図 14。

   注 アップダウンの激しい場所で使用する時には、スプリングの長さを 1.3 cmに調整してください。

   注 刈高を変更したときや下刃の角度を変更したときはスプリングの長さを再調整してください。

運転のヒント

1. トラクションユニットにあるリール回転速度設定を最高速度数字の9にセットし、エンジンをフルスロットルとして、希望する走行速度で作業を行う。
2. ブレードの最大食い込み深さは 6mm が推奨です。
3. バーチカット作業にどの程度のパワーが必要かは、ターフや土壌の条件により変わります。場合によっては走行速度を下げる必要がでてきます。
4. ごみや異物の多いターフやサッチが非常に厚くなっているターフでは 後ろ側の排出口を開いてください。

⚠ 注意

異物が飛び出して人にけがをさせる恐れがある。

リアシールドは、地面と平行よりも高く開けないこと。

保守

キックスタンドを使ってカッティングユニットを立てた状態にする

注 バーチカッターを立てる場合には、必ずキックスタンドトラクションユニットの付属品をお使いください図 15。

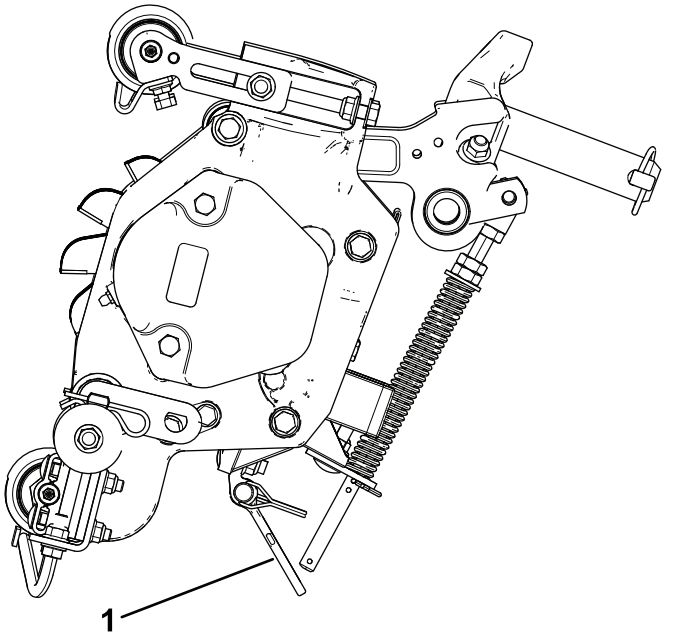


図 15

1. キックスタンド

バーチカッターの潤滑

一週間ごとに、5ヶ所のグリスポイント図 16にNo.2リチウム系汎用グリスを注入します。

グリスポイントは、前ローラ2ヶ所、後ローラ2ヶ所、リールモータのスプライン1ヶ所です。

重要 **カッティングユニットを水洗いした直後にグリスアップ作業を行うと、機械各部から水分を追い出してベアリングの寿命を延ばすことができます。**

1. グリスニップルの周囲をウェスできれいに拭く。
2. ローラのシールやベアリングのリリーフバルブからきれいなグリスがはみ出てくるまでグリスを注入する 図 16。

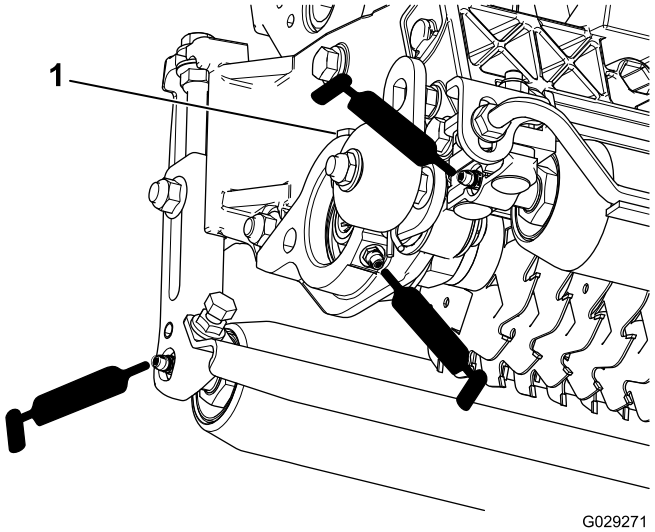


図 16

1. 逃がしバルブ

3. はみ出したグリスはふき取る。

ブレードをシャフトから取り外す

1. バーチカッターシャフトの一方の端ワッシャが 1 枚とナットが 1 個ついている側を万力に固定する。
2. シャフトの反対側についているナットを左回りに回し、ナットを取り外す。

⚠ 注意

ブレードは非常に鋭利であり、バリなどがついていて手を怪我する恐れがある。

シャフトからブレードを外すときには安全に十分注意すること。

3. 小さいスペーサ、ワッシャ、ブレード、大きいスペーサを取り外す。シャフトをきれいに洗い、次の組み立てに備えてシャフト全体に薄くグリスを塗る図 17。

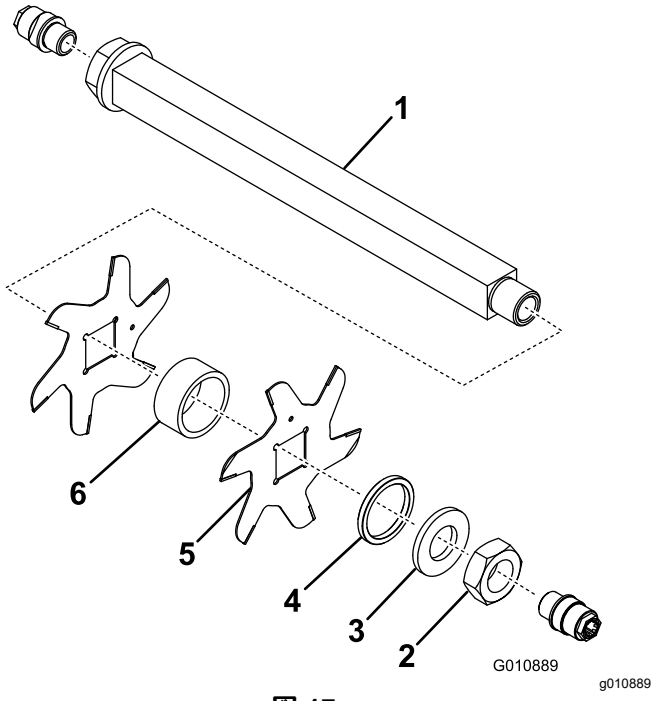


図 17

1. シャフト
2. ナット
3. ワッシャ
4. 小さいスペーサ
5. ブレード19枚
6. 大きいスペーサ18枚

重要 **バーチカッターの刃を裏返さないように注意してください。分解は手順が非常に重要です。ブレードを取り外す際にブレードの順序を入れ替えたり、組み立てるときに逆順にしたりしないでください。ブレードについている目印穴に注意しながら作業してください。この目印穴は、組み立ての際にバーチカッターリールが「正しいらせん形状」になるように組み立てるためのものです。**

バーチカッタのブレードを取り付ける

1. リール刃を組み付ける図 18。
2. 大きいスペーサを取り付ける。
3. 組み付け時にブレードを裏返しにしないように注意すること。

   注 ブレードを裏返しにすると、使用中の丸いブレードが、未使用のブレードの鋭い端と混ざり、バーティカッターのパフォーマンスが不十分になる。
4. 次のブレードを右に 1/6 回転ずらして、つまり、合い印が面一枚分右にずれるようにして、取り付ける図 18。

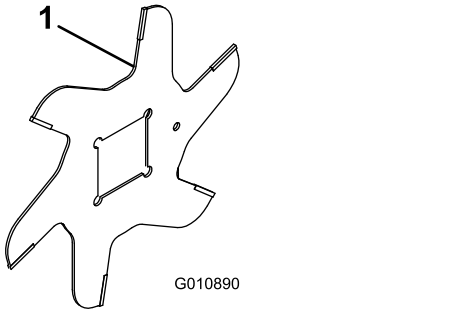


図 18

1. 目印穴

5. 以上の手順を繰り返しながら、ブレードとスペーサを交互に、最後まで取り付けてゆく。

   注 正しく組み上がっていれば、リール全体がきれいにねじれた形状の円柱となる。
6. 小さいスペーサをシャフトに取り付ける。
7. ナットに青色ロクタイト #242 を塗る。シャフトにナットを ナットの面取り面をスペーサに向けて取り付け、109136N·m 11.113.8kg.m = 80100ft-lb にトルク締めする。

標準以外のブレード間隔

バーティカッターの構成を標準の 1.20 インチ間隔からオプションの 0.94 インチ間隔に変更するには、追加の23個のスペーサー (部品番号 140-5532) と図 19に示されている追加の5個の超硬チップブレード (部品番号 106-8625) が必要となる。

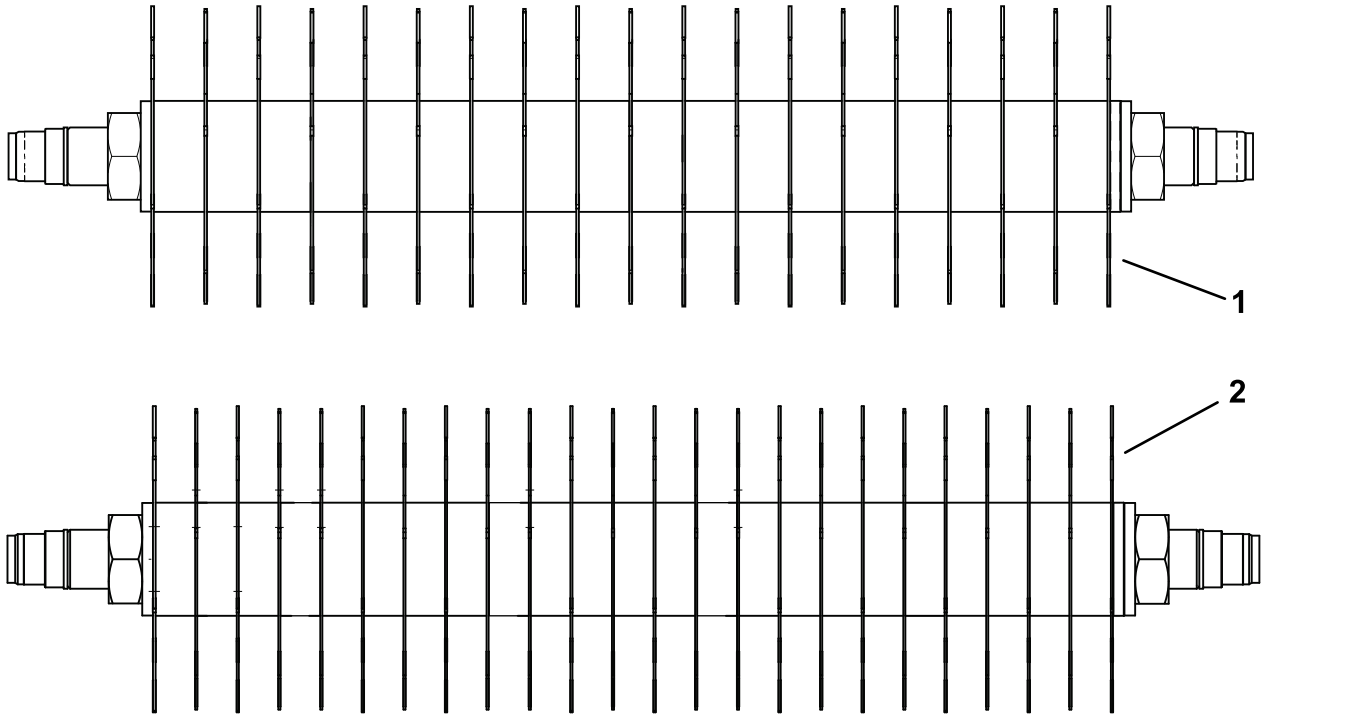


図 19

1. ブレード間隔1.20"出荷時設定
2. ブレード間隔0.94"

ローラの整備

ローラの整備用として、ローラリビルドキットPart No. 114–5430およびローラリビルドツールキットPart No. 115–0803を販売しております図 20。ローラリビルドキットは、ローラの分解組み立てに必要なすべてのベアリング、ベアリングナット、内側シール、外側シールをセットにしたキットです。ローラリビルドツールキットは、ローラリビルドキットをつかってローラの再組み立てを行うのに必要な工具と説明書のキットです。詳細は、パーツカタログをご覧になるか、代理店にお問い合わせください。

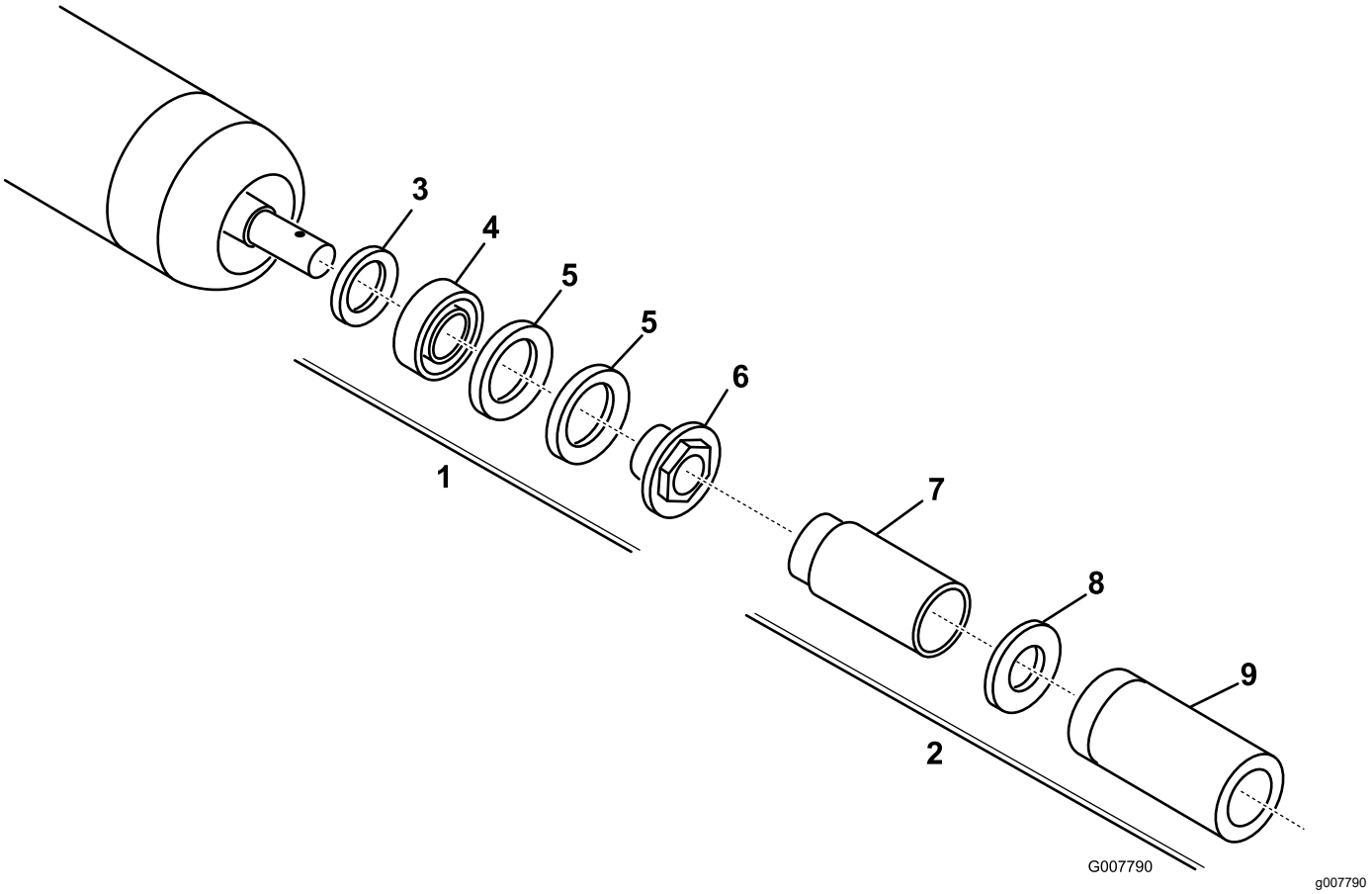


図 20

1. ローラリビルドキットP/N 114–5430
2. ローラリビルド工具キットP/N 115-0803
3. 内側シール
4. ベアリング
5. 外側シール
6. ベアリングナット
7. 内側シールツール
8. ワッシャ
9. ベアリング/外側シールツール

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
03731	407900000 以上	リールマスター 7000-D 用27 インチ カッティングユニット	RM7000 27IN VERTICUTTER CU	バーチカッター	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 1, 2022

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する規制に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
03731	407900000 以上	リールマスター 7000-D 用27 インチ カッティングユニット	RM7000 27IN VERTICUTTER CU	バーチカッター	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する規制等に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom

Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 1, 2022

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡くださいlegal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あなたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようにお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間*のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレーターを除くすべての製品に適用されますエアレーターに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。